【岐阜女子大学】メタデータ記述用紙

	メタデータ項目	メタデータ記述欄
1	ID	
2	表題名	身近にある有毒植物
3	資料名	ミフクラギ (オキナワキョウチクトウ)
4	内容分類	自然
5	索引語	植物、ミフクラギ、オキナワキョウチクトウ、毒性、公園
6	説明	熱帯アジアに分布し、排気ガスや公害に強いことから交通道路や公園、海岸近くなどに多く見られる。 葉は細長く互生し、長さ約10~25 センチメートルで倒披針形、表面に光沢があり全縁である。花は白色で、果実は長卵形。種子は猛毒である。枝葉を折った際にでる乳白色の樹液も有毒であり、目や粘膜に触れると腫れることからミフクラギという。実は赤く熟し、マンゴーと間違える事故も発生している。沖縄方言ではミーフックヮーという。 【症状】有毒の樹液に触れたり口に含んだりした際の症状として、皮膚炎、下痢、嘔吐、めまい、不整脈、心臓麻痺があげられる。 【処置法】 ①接種してしまった場合症状が出る前に救処救急車をよび、処置してもらう。 ②傷口に汁が入った場合すぐ傷口を清潔な水でよく洗い流す。 【事故事例】小学生が校内に植えてあるキョウチクトウの葉を食べられると勘違いして3~5枚ほど食べ、吐き気や頭痛といった症状を訴えて入院した。(朝日新聞 DIGITAL 記事「キョウチクトウで小学生2人が食中毒 高松」2017/12/16 19:00)
7	形式	# 同位 2017/12/10 19:00/ 静止画 (jpg)
8	氏名	田港さくら
9	時代・年	2021/10/18
10	地域・場所	那覇市内の公園(奥武山公園、若狭海浜公園、漫湖公園、旭ヶ丘公園)
11	利用条件	表示 4.0 国際 (CC BY 4.0)
1 2	関連資料	
13	権利者	岐阜女子大学
1 4	協力者	なし
15	登録日	2021/11/22
16	登録者	田港さくら
17	ファクトデータ	circd082p-0036.jpg
18	サムネイル	
19	公開の可否	公開可

2 0	*特色	有毒であるが、公園や校庭、園庭、街路樹とても植えられており、事故事例
		も多数あるため、注意が必要である。
2 1	*活用支援	教員や保育士等の教育関係者に園外保育や園内研修等で子どもの安全を守
		るための知識として利活用できる。
2 2	*利用分野	教育、生涯学習、地域学習
2 3	*改善結果	
2 4	*処理プロセス	
2 5	機関外リンク情報	
2 6	目標	
2 7	紹介	